

スポーツ実績に関する申告書

記入例1

受験校種・教科等 高等学校教諭（保健体育）

受験資格となる実績

高等学校卒業後、全国大会（国民体育大会、日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会等）で3位以内に入賞した実績を有する者。（ただし、団体競技については正選手として出場した者に限る。）

フリガナ	ヒロシマ レモン			(令和3年4月1日現在)
氏名	広島 れもん	広島	性別 男・女	年齢 35 歳

①	大会の名称	(必ず正式名称を記載) 第〇回 日本選手権水泳競技大会		開催地	〇〇県
	主催団体	公益財団法人 日本水泳連盟			
	実績を収めた年月日	昭和・平成・令和 〇年 〇月 〇日			
	成績	競技種目	200mバタフライ		
		個人・団体	個人・団体 (いずれかに〇印)		
成績	「団体」の場合のみ記入	チーム内での役割	レギュラー・控え (いずれかに〇印)		
		ポジション			
	順位	1位・2位・3位 (いずれかに〇印)			
②	大会の名称	(必ず正式名称を記載) 第〇回 国民体育大会		開催地	〇〇県
	主催団体	公益財団法人日本体育協会・文部科学省・〇〇県			
	実績を収めた年月日	昭和・平成・令和 〇年 〇月 〇日			
	成績	競技種目	400mメドレーリレー		
		個人・団体	個人・団体 (いずれかに〇印)		
成績	「団体」の場合のみ記入	チーム内での役割	レギュラー・控え (いずれかに〇印)		
		ポジション	第3泳者 バタフライ		
	順位	1位・2位・3位 (いずれかに〇印)			

- 枠内の必須事項を全て記入し、押印すること。（※欄は記入不要。）
- この用紙はA4（縦）とし、記入は自筆（黒ボールペンを使用）とすること。
- ①、②については、開催年月日順ではなく、実績の上位から申告したい順に記載すること。（受験資格となる実績が複数ある場合）
- この「スポーツ実績に関する申告書」を上にして、実績を証明する書類と合わせてホチキス止めにすること。
- 「4」の実績を証明する書類に記載された氏名が、現在の氏名と異なる場合は、戸籍抄本又は戸籍個人事項証明書（従前戸籍が確認できるもの）を併せて提出すること。提出された書類は返却しない。  
(例) 実績を証明する書類  
新聞記事（新聞社名と日付が確認できるもの）の写し、表彰状の写し、主催団体が発行する成績証明書の写し、大会要項又は大会結果収録の写し（表紙及び主催団体が確認できる頁を含む。）
- 正選手とは登録メンバー（レギュラー又は控え）とし、大会要項等に氏名が掲載されている場合など、登録メンバーであることが確認できれば受験を認める。

スポーツ実績に関する申告書

記入例2

受験校種・教科等 高等学校教諭（保健体育）

受験資格となる実績

高等学校卒業後、全国大会（国民体育大会、日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会等）で3位以内に入賞した実績を有する者。（ただし、団体競技については正選手として出場した者に限る。）

フリガナ	ヒロシマ マナブ			(令和3年4月1日現在)
氏名	広島 学	性別	男・女	年齢 28 歳

①	大会の名称	(必ず正式名称を記載) 第〇回 国民体育大会	開催地	〇〇県	
	主催団体	公益財団法人日本体育協会・文部科学省・〇〇県			
	実績を収めた年月日	昭和・平成・令和 〇年 〇月 〇日			
	成績	競技種目	バスケットボール		
		個人・団体	個人・団体 (いずれかに〇印)		
「団体」の場合のみ記入		チーム内での役割	レギュラー・控え (いずれかに〇印)		
		ポジション	ガード		
	順位	1位・2位・3位 (いずれかに〇印)			
②	大会の名称	(必ず正式名称を記載) 第〇回天皇杯 全日本バスケットボール選手権大会	開催地	〇〇県	
	主催団体	公益財団法人 日本バスケットボール協会			
	実績を収めた年月日	昭和・平成・令和 〇年 〇月 〇日			
	成績	競技種目	バスケットボール		
		個人・団体	個人・団体 (いずれかに〇印)		
「団体」の場合のみ記入		チーム内での役割	レギュラー・控え (いずれかに〇印)		
		ポジション	ガード		
	順位	1位・2位・3位 (いずれかに〇印)			

- 枠内の必須事項を全て記入し、押印すること。（※欄は記入不要。）
- この用紙はA4（縦）とし、記入は自筆（黒ボールペンを使用）とすること。
- ①、②については、開催年月日順ではなく、実績の上位から申告したい順に記載すること。（受験資格となる実績が複数ある場合）
- この「スポーツ実績に関する申告書」を上にして、実績を証明する書類と合わせてホチキス止めにすること。
- 「4」の実績を証明する書類に記載された氏名が、現在の氏名と異なる場合は、戸籍抄本又は戸籍個人事項証明書（従前戸籍が確認できるもの）を併せて提出すること。提出された書類は返却しない。  
(例) 実績を証明する書類  
新聞記事（新聞社名と日付が確認できるもの）の写し、表彰状の写し、主催団体が発行する成績証明書の写し、大会要項又は大会結果収録の写し（表紙及び主催団体が確認できる頁を含む。）
- 正選手とは登録メンバー（レギュラー又は控え）とし、大会要項等に氏名が掲載されている場合など、登録メンバーであることが確認できれば受験を認める。